

目指すべき学校像	国際社会に生きる人材育成を最高の目標とし、人格の完成、豊かな情操を育み、探求心旺盛な自主的・自律的な精神に満ちた心身共に健全な人間育成に期する。
重点目標	A 学校の教育理念や歴史を理解し、学校に誇りを持つ。
	B 自らの進路を主体的に考え、学習に生かすことができる。
	C 生徒にとってかけがえのない学校生活を充実させる。
	D 教育環境に対し、常に最高の教育環境を維持する。
	E 国際社会を見据え、韓国人としての矜持や国語（韓国語）を学ぶ礎を築く。

達成度	A	ほぼ達成 (80%以上)
	B	概ね達成 (60%以上)
	C	変化が見られる (40%以上)
	D	不十分 (40%未満)

達成度は生徒アンケートで、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の数値(%)の合計で表す。

		学 校 評 価				年 度 評 価		
重点目標	設問番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
A	1,2	・本校が創立にいたった背景や、歴史的な経緯を知ったうえで、それに基づいた教育理念・目標を理解することは、より有意義な学校生活につながり今後の成長を促す大きな要因であるので、効果的に継続的な指導・取組みが必要とされる状況である。	生徒自身が学校創立の背景を理解し、誇りを感じることができるとの取り組みの実施。	・生徒が毎日必ず通る展示ギャラリーで本校の歴史に関連した展示内容を充実。 ・創立記念講話においては、校長による講話を通し実施創立当時の状況や苦難を乗り越えた経緯を生徒たちがより深く理解できる内容で実施。 ・修学旅行等で韓日の友好の歴史文化に関連した学習を実施。	・「学校に誇りを感じる」生徒が2/3を超える。 ・「学校設立」背景を理解する生徒が2/3を超える。 ・本校が目指す生徒像を理解する生徒が2/3を超える。	・設問1,2の肯定的な回答の割合は、 設問1: 67.9% 設問2: 67.1% 平均で67.5%となった。	B	・記念講話の実施に当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面ではなくOnlineを導入することにより実施。 ・幼稚園から高校までの一貫校として取り組める体育祭や文芸祭等の行事教育を通し、本校の教育理念・目標の理解の一助となるような指導を強化する。(継続) ・本校で学ぶことの意義や教育内容への理解を促す取り組み。(総合的な探究や様々な行事教育の実施。)(継続)
B	5,6	・生徒たちが理解しやすい授業の確立 ・生徒の置かれた状況を把握するためICTの活用を検討模索している状態である。	積極的な学習活動への取り組み	・新学習指導要領にのっとり、生徒の主体的な学びを促進する、教授技術の向上をはかる。(継続) ・ICT機器(Chromebook,電子黒板)を活用した授業の推進。(継続) ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。(継続)	・学習活動に関する設問に対し肯定的な回答が2/3を超える。	設問5,6の肯定的な回答は、 設問5: 70.4% 設問6: 73.4% 平均71.9%となり、概ね達成している。	B+	・新学習指導要領にのっとり、生徒の主体的な学びを促進する、教授技術の向上をはかる。(継続) ・ICTの活用により、より効率的な授業の実施を模索する。 ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。(継続) ・平素から授業アンケートを実施し、教員の授業の取り組みに対する意識の向上を図る。(継続)
C	3,4,7,8,10	・新型コロナウイルスの関係で制限された中で実施されていたにも関わらず、学校教育の柱の1つである行事教育に関しては現況で成果が上がっていると考え。 ・昨年の設問「悩みや相談をしやすい環境である。」に対する肯定的な意見が、67%にとどまっている。学年担任団制度の一層の活性化による向上が望まれる状態である。	確かな学力の育成と授業改善	・授業改善にかかわる情報の収集と共有 ・教員が新たな教授法及び教材作成活用方法などに取り組む。 ・ICT機器(Chromebook)の授業への活用 ・生徒のニーズに応える教育課程の改善 ・少人数制を生かした授業展開の強化 ・日本語韓国語併記による板書、教材準備の推進。	・生徒の授業満足度に関する設問4において肯定的な回答80%以上を目指す。	設問4の肯定的な回答は62.2%となった。	B	・教員が教授法及び教材作成活用方法などを共有出来るよう、積極的に教員間の授業見学や教科内の会議を行う。(継続) ・Chromebookの導入により、自主性・多様性・協働性を持った学びの実現につなげる授業を展開する。 ・教員の研修への積極的な参加を推進する。(継続) ・科目に応じた習熟度別クラス編成の導入(継続) ・言語能力の向上の為に日常的な指導を取り入れる。
			安心して通える学校生活づくりを目指す	・教員の生徒指導に関して意識の持ち方を改革し、生徒の人格や人権を尊重する意識を高めるとともに、生徒が心を開ける環境を作る。 ・学校や教員に対する信頼を高める取り組みの実施。 ・保護者との情報交換をより活性化させる。 ・教員の生徒への積極的な声掛け。 ・スクールカウンセラーの助力を強化する。 ・登校指導時の生徒の見守りにより、早期に変化を見つける取り組みの実施。	・設問7,10の肯定的な回答の割合80%を目指す。	・設問7の肯定的な回答は87.7%となった。 ・設問10の肯定的な回答は71.6%となった。		・教員の生徒指導に関して意識の持ち方を改革し、生徒の人格や人権を尊重する意識を高めるとともに、生徒が心を開ける環境を作る。(継続) ・保護者との連絡をより密にし状況に応じては、家庭訪問を積極的に行う。(継続) ・悩みを抱える生徒が自発的に教員に相談をすることが難しい状況があると思われるので、放課後の時間等に生徒が利用できる相談室を設置する。 ・学年担任制度を導入し、複数の教員による見守り体制を新規構築。(継続)
			学校行事を通じた教育の充実	・生徒が自主的に行事の計画・準備・運営に関わる体制の構築。 ・従来行事の精査と強化 ・姉妹校との交流(Online)の強化	・設問3,8の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問3,8の肯定的な回答は 設問3: 72% 設問8: 67.9% となった。		・行事の実施に当たり、生徒が自主的に立案、計画、準備、運営に当たれる状況をつくり、やりがいを感じることが出来るものとする。(Chromebook活用継続) ・新型コロナによる制限が解けた中でより積極的な取組が出来るよう導いていく教育活動を行う。
D	9,11,12,13	・生徒たちの環境維持に対する意識が平均的に高く、施設や設備などは良い状態で維持できている。ただ、故意に施設を乱暴に扱ったりする生徒が皆無になっているわけではない。	美化意識の向上から教育環境の健全化と安全な学校づくりを目指す。	・校内美化状況の確認、点検の徹底。 ・清掃活動奨励の強化。 ・清掃用具の点検と充実。 ・生徒会の美化委員による自主的な美化意識の向上。	・関連設問の肯定的な回答の割合80%を目指す。	関連設問の肯定的な回答は81.6%となり、目標としている達成度に到達した。 清掃活動の取り組みは定着している。	A	・一般的な方策は継続する方針とし、さらなる教育効果向上を模索する。 ・教員主導による意識向上ではなく、生徒の自主的な働きかけにより意識向上が出来るよう、生徒会との連携を深める。(継続)
E	14,15	本校は民族学校として、その教育の柱に言語教育である韓国語教育を掲げている。英語を含め韓国語の学習は国際社会に通じる道であることは生徒達も認識している。生徒のニーズに答えるべく高い水準の韓国語教育を実践してきている。言語の習得を通じ生徒たちが自信を深めることは、学校教育全体への良い影響をもたらすものと考えられる。	韓国語によるコミュニケーション力の向上	・コミュニケーション力向上に必修の単語力向上を期し、校内韓国語単語試験を何時でも何処でも受けられることのできるオンラインシステムにより実施。自主的に取り組む生徒の更なる実力向上を目指す。 ・授業の進行を韓国語で行う割合を出来るだけ高めていく。 ・語彙力の向上にICT(Chromebook)を活用する。 ・韓国語の弁論大会、スピーチ大会へのエントリーを奨励する。 ・協定校との交流の活性化。 ・日常の学校生活において、韓国語を出来るだけ使うことを意識付ける。	・設問14,15の肯定的な回答の割合80%を目指す。	設問14,15の肯定的な回答は 設問14: 70.7% 設問15: 84% となった。	B+	・コミュニケーション力向上に必修の単語力向上を期し、校内韓国語単語試験を何時でも何処でも受けられることのできるオンラインシステムにより実施。自主的に取り組む生徒の更なる実力向上を目指す。(継続) ・日常の学校生活において教員が韓国語を使いながら指導する機会を増やす。(継続) ・韓国の協定校との交流への参加を更になし、実際に韓国語を使う機会を増やす。(継続) ・教員全員の韓国語能力の底上げを図る。(継続) ・ICTを活用し、Onlineでの外国の生徒との交流を実施。